



# コロンビアの経済概況 — 中南米第3の市場の魅力 —

2016年2月

日本貿易振興機構(ジェトロ)

ボゴタ事務所

# 目次

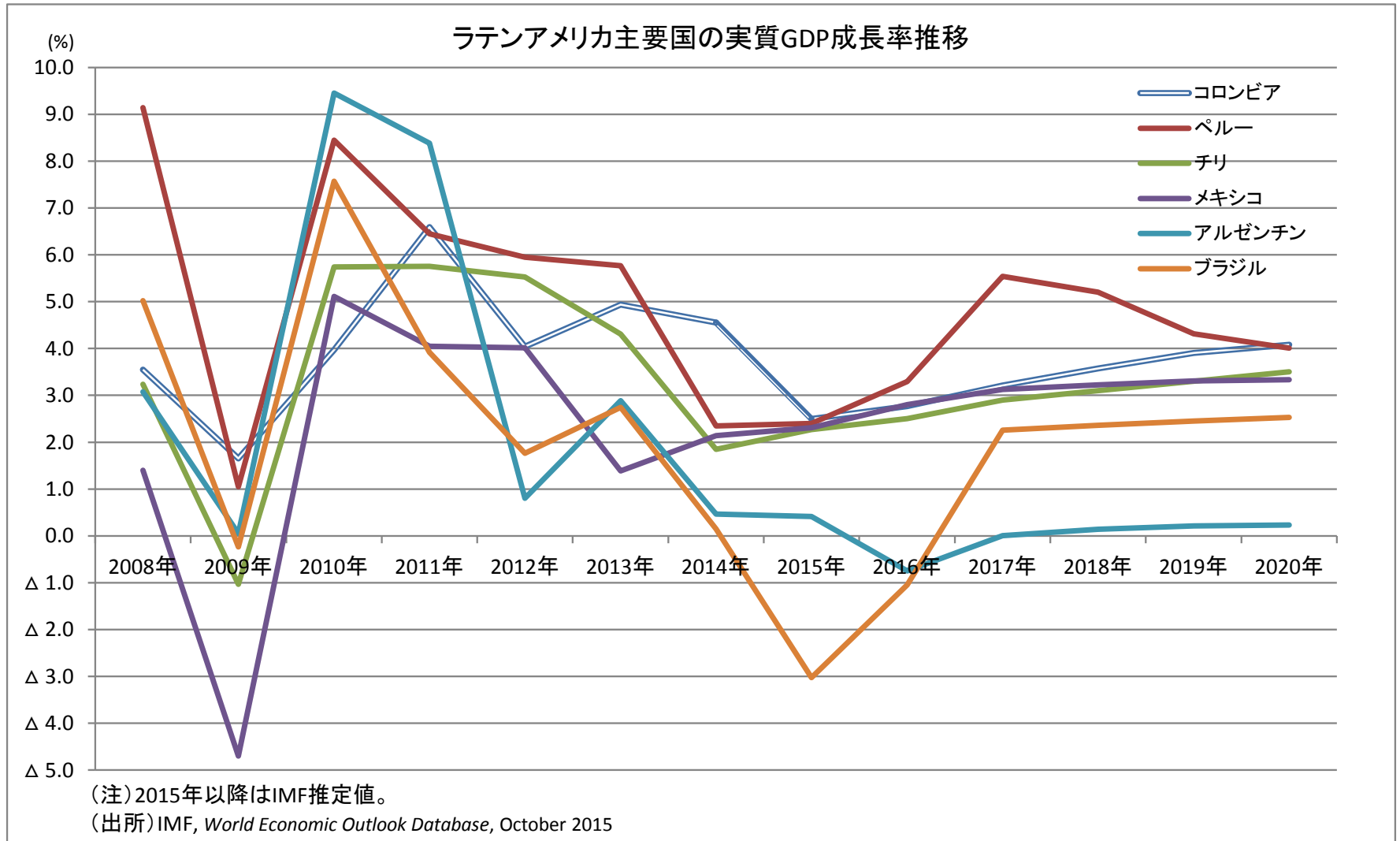
1. 近年のマクロ経済動向

2. 企業活動

3. ビジネス環境上のメリット・デメリット

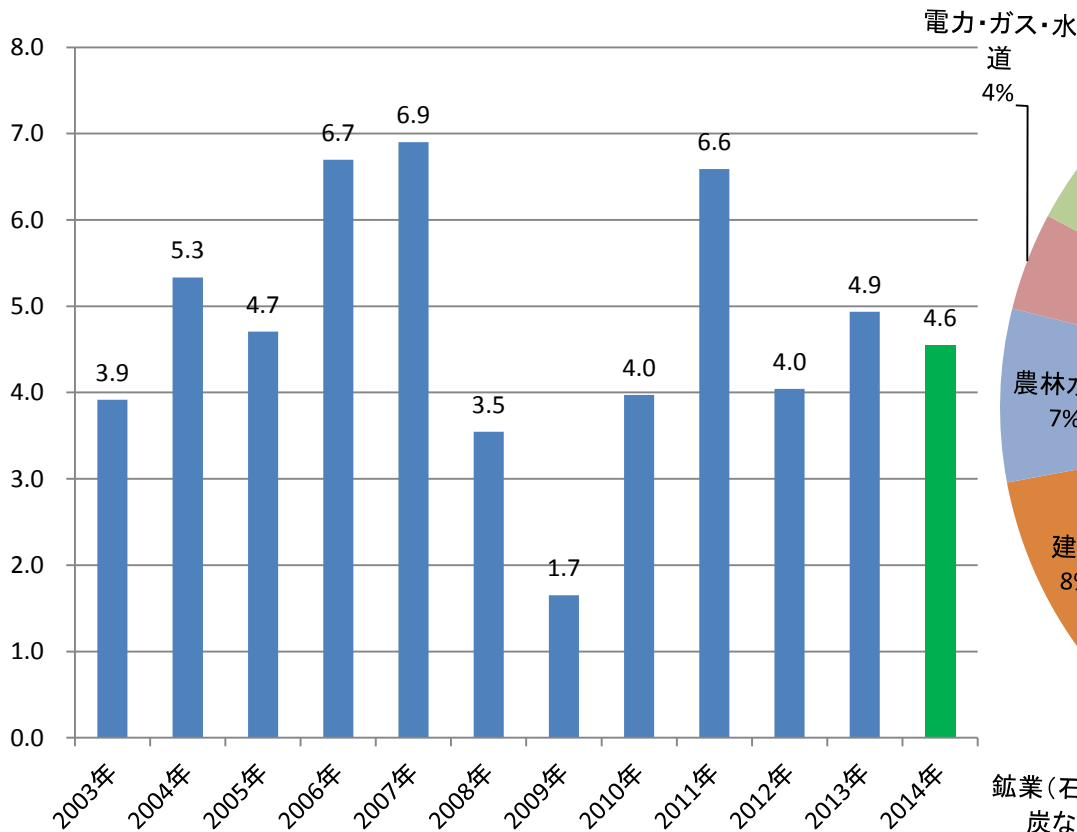
# 近年のマクロ経済動向

## GDP成長率は堅調に推移

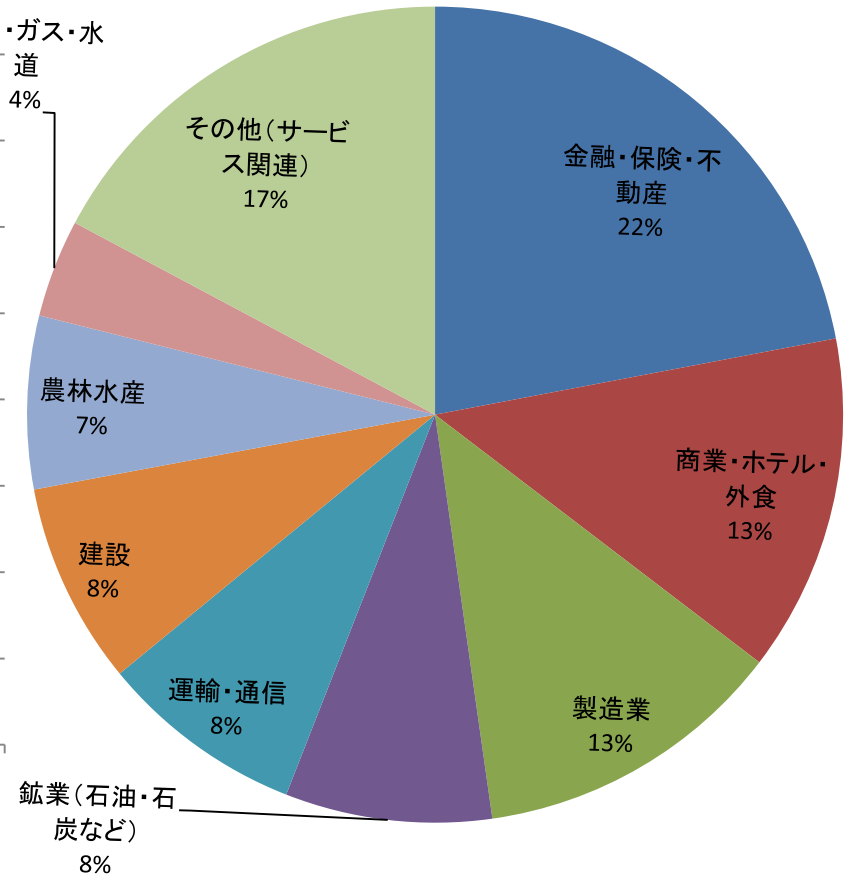


# コロンビア国内総生産(GDP)

実質GDP伸び率(%)



2014年産業別GDP構成比



**2015年第3四半期: 3.2%**

**2015年: 3.0%、2016年: 2.7% (中銀予想)**

**2015年: 2.5%、2016年: 2.8% (IMF予想)**

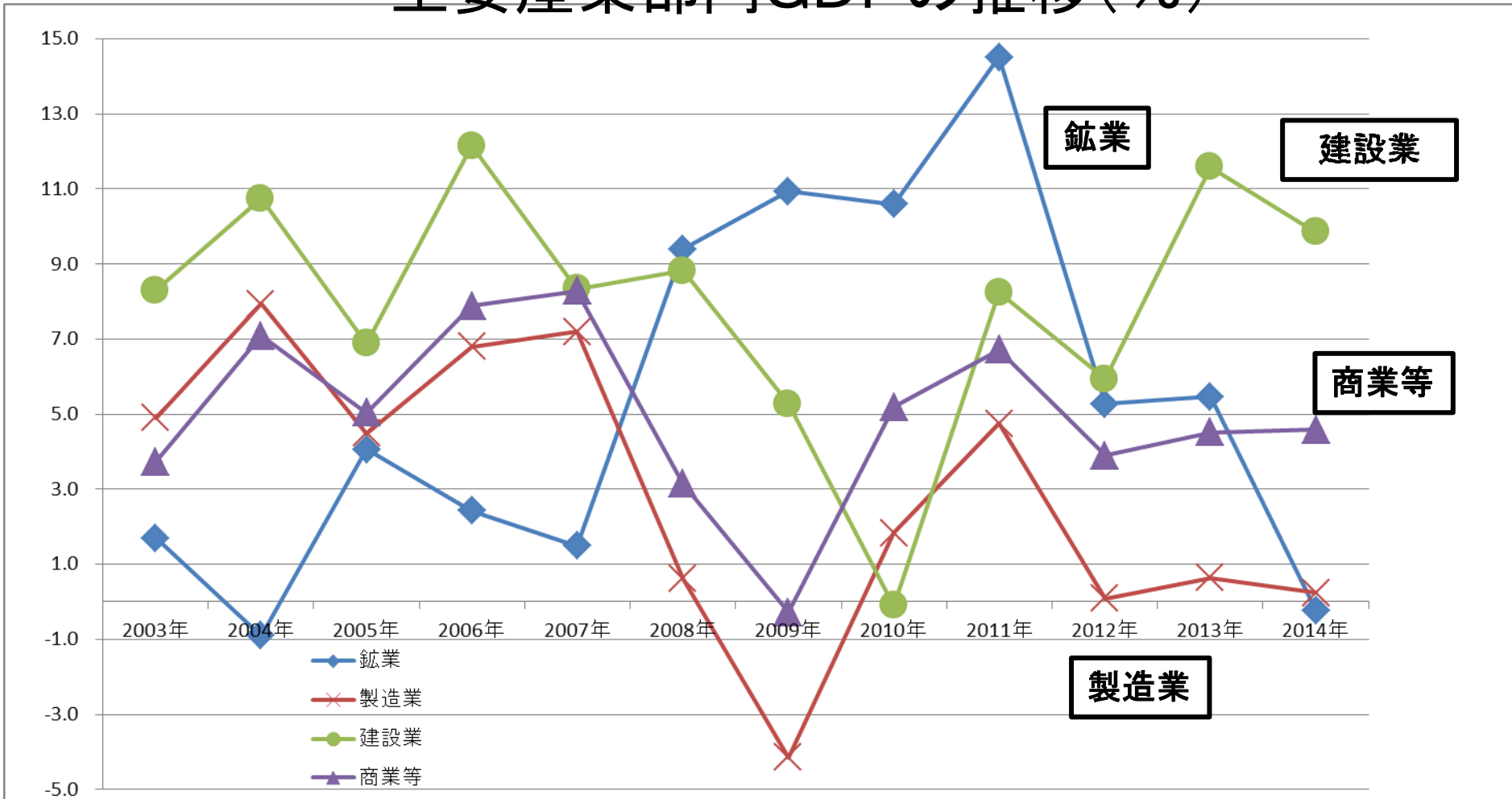
● **安定した成長を維持**

**国内需要は総需要の平均86%を占める(直近10年間)**

(出所) 国立統計庁(DANE)資料から作成

Copyright © 2016 JETRO. All rights reserved 禁転載

# 主要産業部門GDPの推移(%)



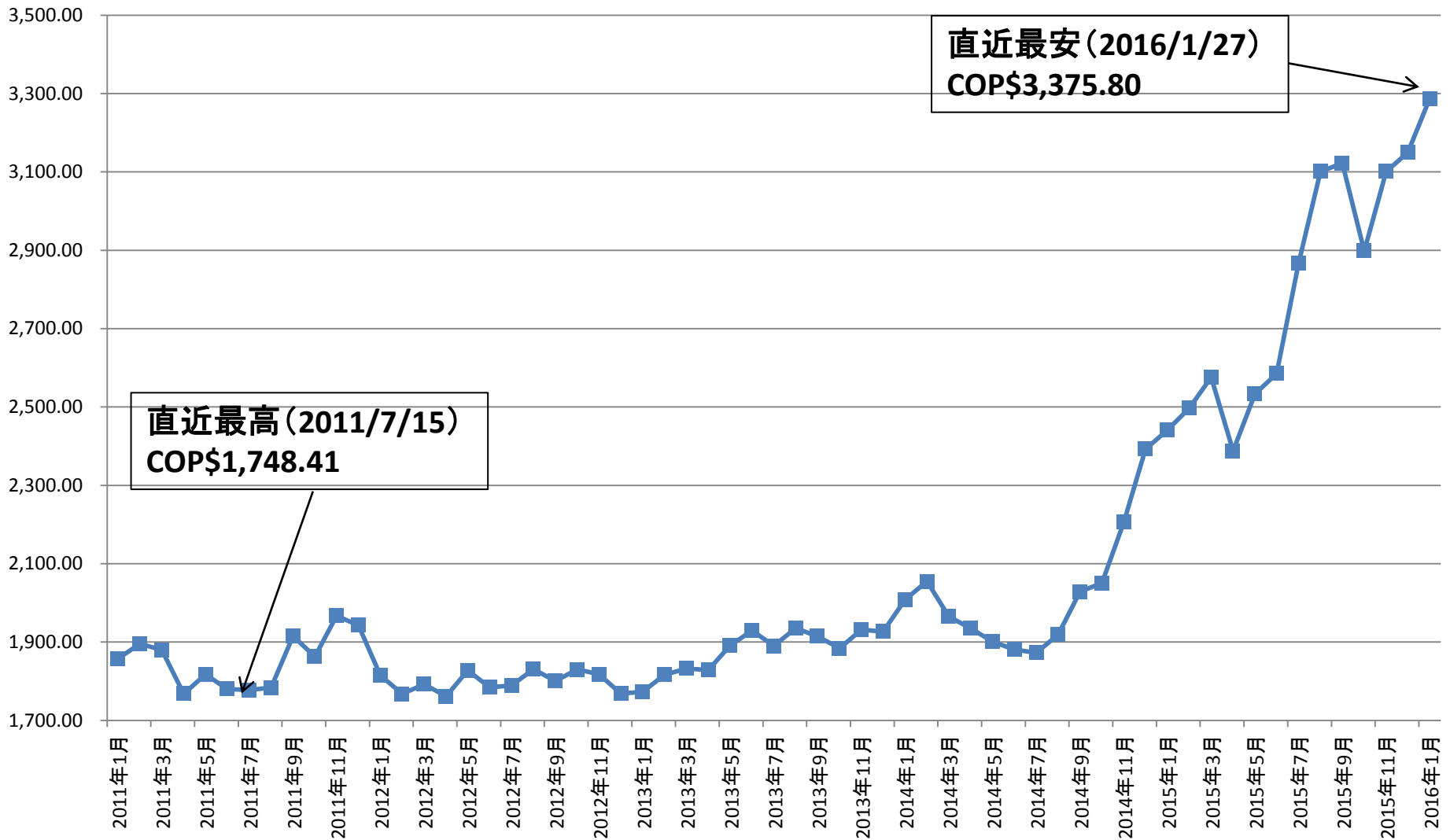
コロンビアにおけるインフレ率(消費者物価上昇率,CPI)の推移

2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
7.65%	6.99%	6.49%	5.50%	4.85%	4.48%	5.69%	7.67%	2.00%	3.17%	3.73%	2.44%	1.94%	3.66%	6.77%

(出所) 国立統計庁(DANE)資料から作成

**2016年1月: 7.45%、政策金利 6.25%**

# 対ドルペソレートの推移(各月末、ペソ/米ドル)



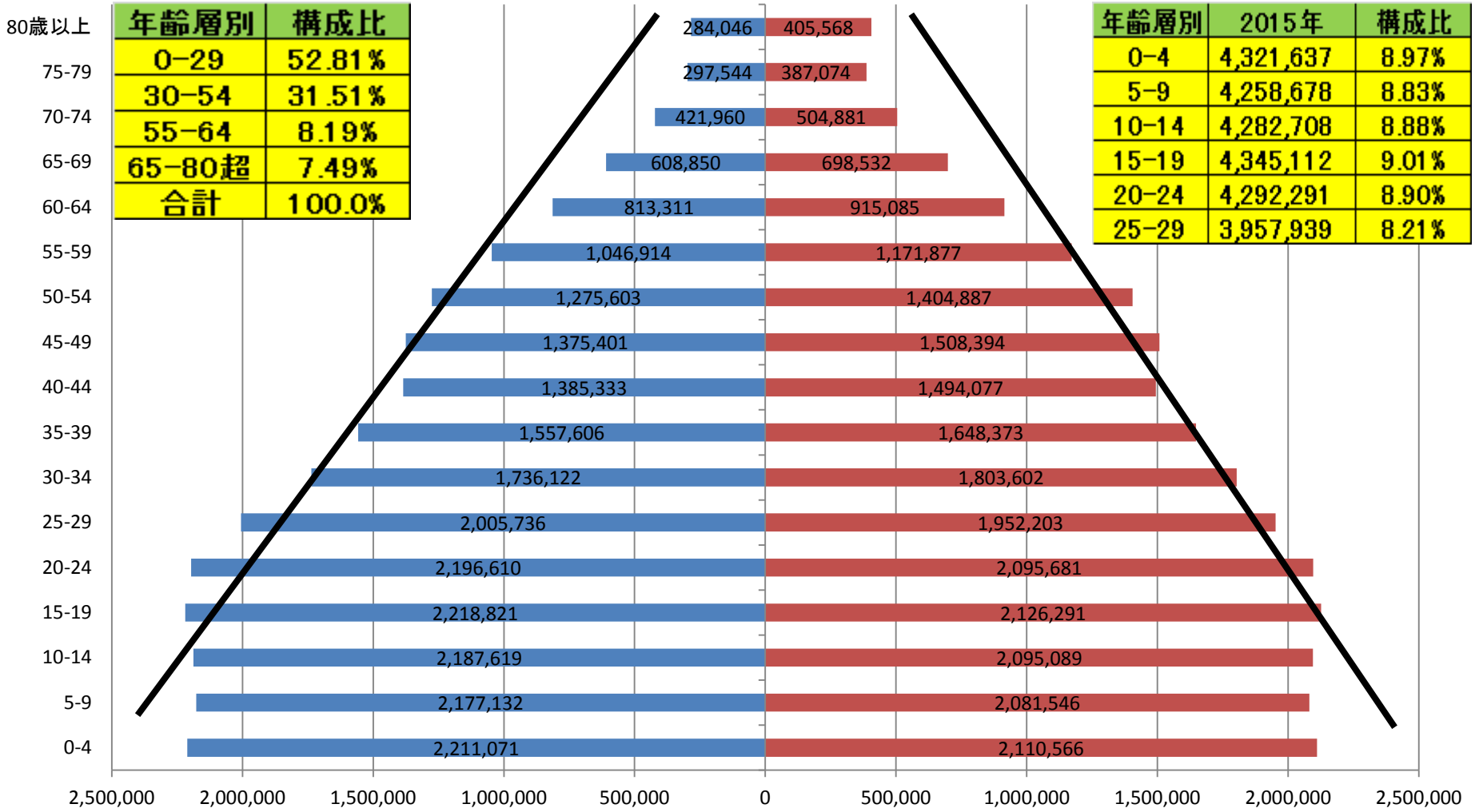
(出所) 中央銀行統計から作成

2016年1月末 COP\$3,287.31 / US\$

# 人口ピラミッド

## 人口構成(推定値)

■ 2015年(女) ■ 2015年(男)

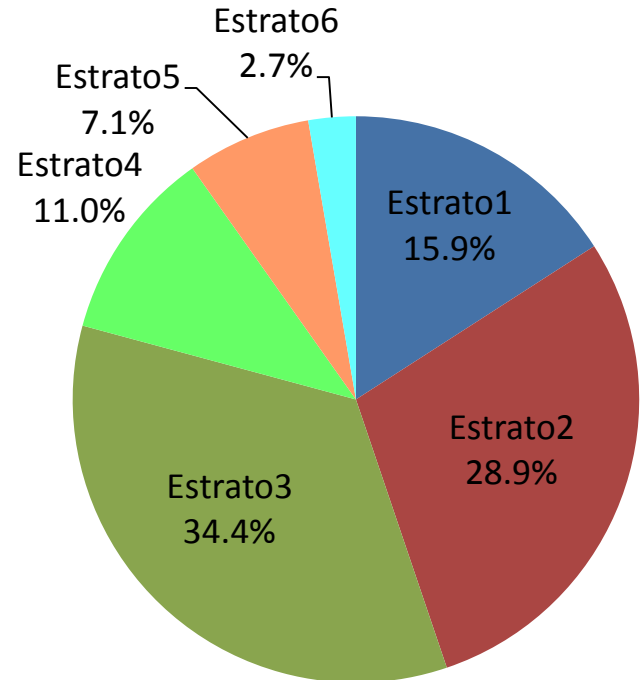


# 所得関連統計

## 月額最低賃金の推移

開始期間 (各年1月1日適用)	最低賃金 (ペソ)	伸び率 (%)	相当金額 (米ドル)	年初為替レート (COP\$/US\$)
2001	286,000	10.0%	128	2,229.18
2002	309,000	8.0%	135	2,291.18
2003	332,000	7.4%	116	2,864.79
2004	358,000	7.8%	129	2,778.21
2005	381,500	6.6%	160	2,389.75
2006	408,000	6.9%	179	2,284.22
2007	433,700	6.3%	194	2,238.79
2008	461,500	6.4%	229	2,014.76
2009	496,900	7.7%	221	2,243.59
2010	515,000	3.6%	252	2,044.23
2011	535,600	4.0%	280	1,913.98
2012	566,700	5.8%	292	1,942.70
2013	589,500	4.0%	333	1,768.23
2014	616,000	4.5%	320	1,926.83
2015	644,350	4.6%	269	2,392.46
2016	689,454	7.0%	219	3,149.47

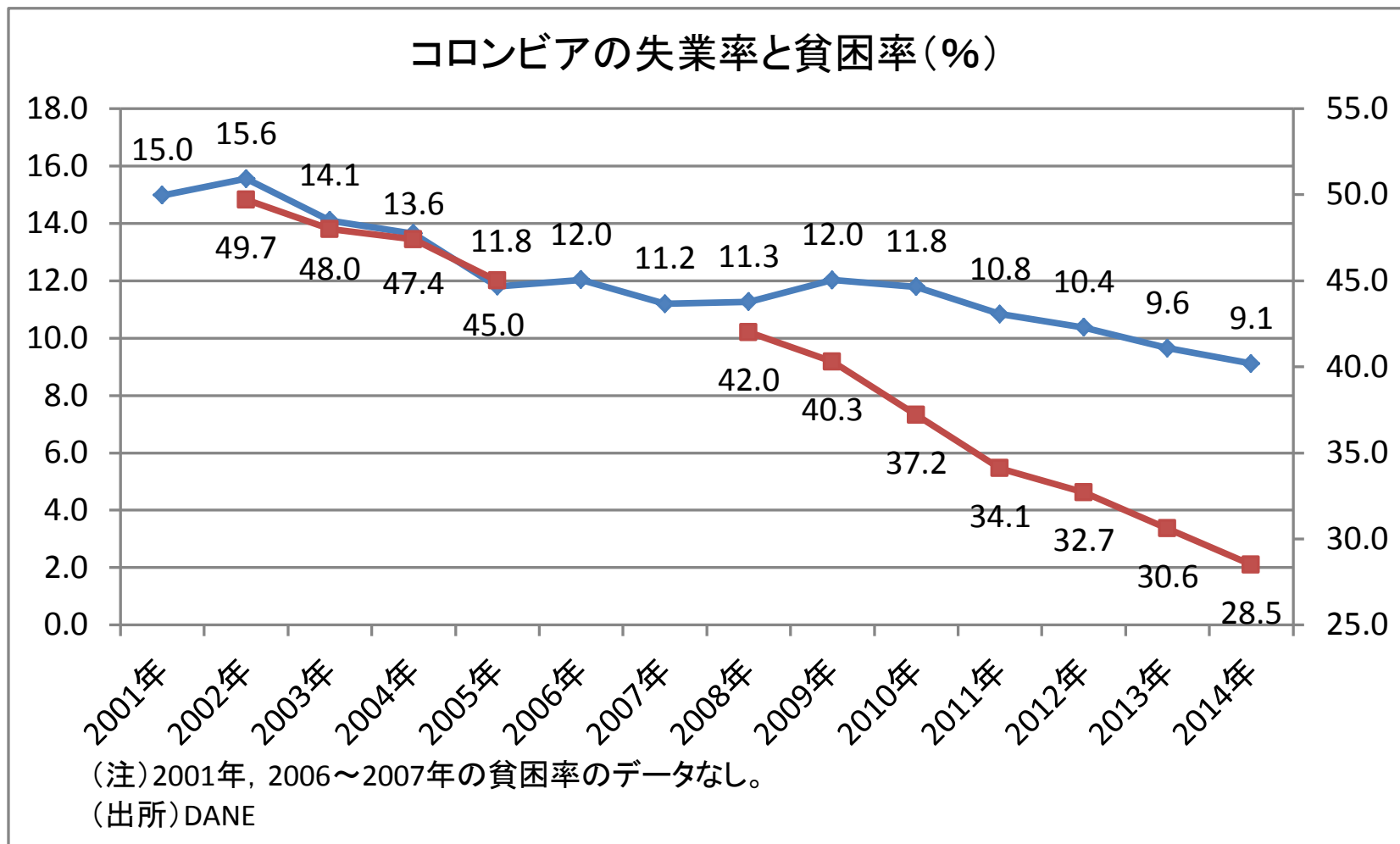
## 経済社会階層別人口構成 (2014年)



(出所) RADDAR CKG資料を元に作成  
 (注) Estrato 6 が最高所得階層、階層毎に  
 共益料金(電気、水道など)等が相違

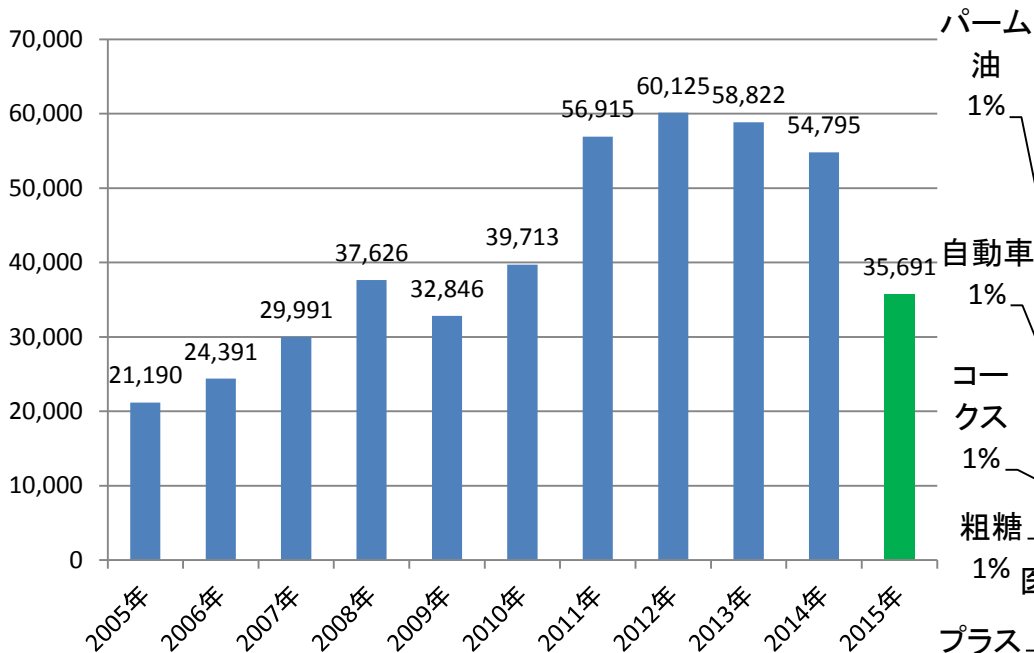


# 失業率の低下で貧困層が減少

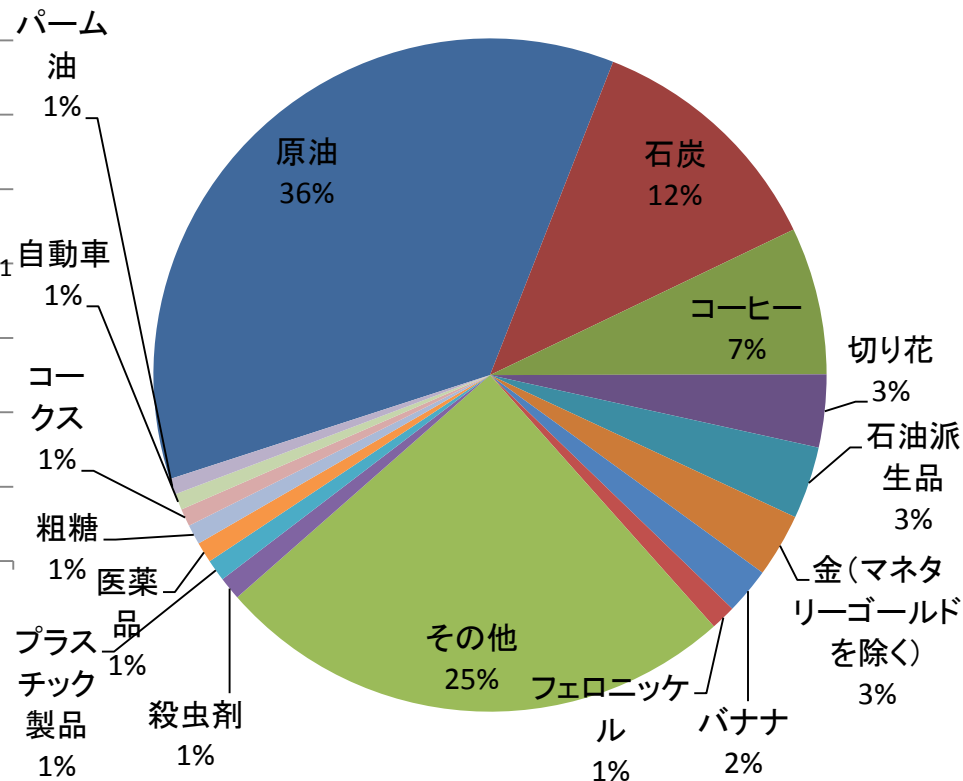


# コロンビアの輸出(2015年)

コロンビア輸出推移(単位:百万ドル)



品目別輸出構成(2015年)



**2015年: 356.9億ドル(前年比32.5%減)**

**石油・石炭輸出: 188.0億ドル(同47.4%減)**

輸出上位5カ国:

米国(シェア27.6%)、パナマ(6.7%)、中国(6.3%)、  
スペイン(4.4%)、オランダ(4.2%)、日本(17位、1.5%)

出所: 国家統計庁(DANE)

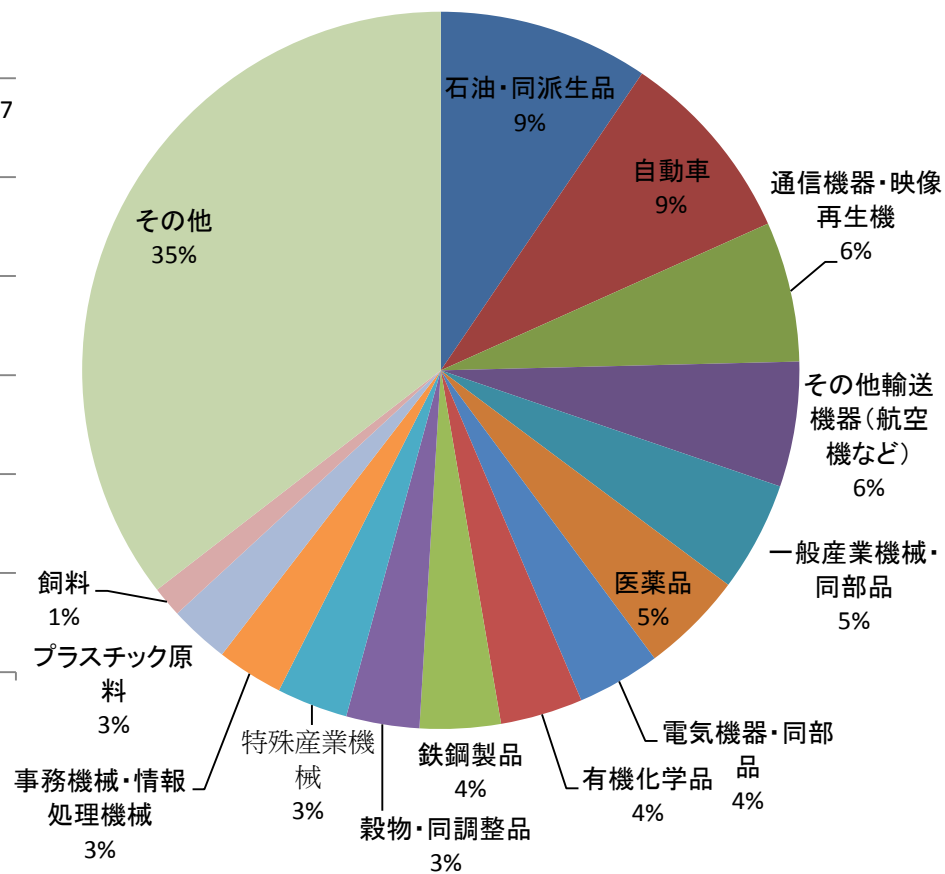
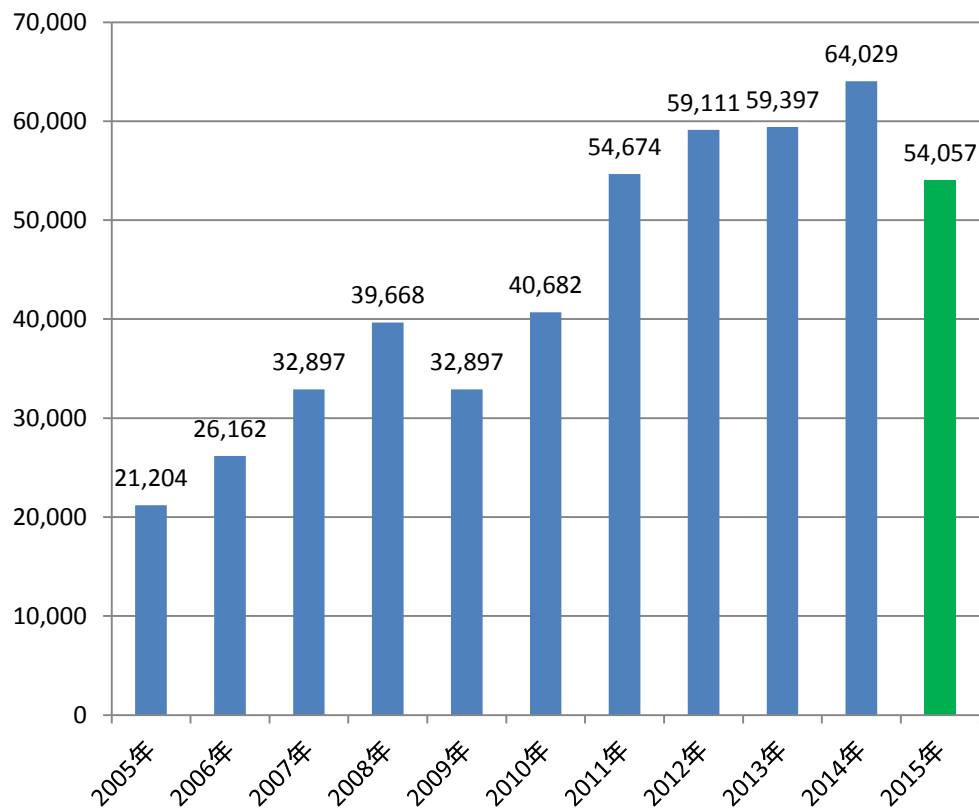
(参考)

- エメラルド産出量 世界第1位
  - 花卉輸出量 世界第2位
  - ランの種類数 世界第1位
  - 多様性生物 世界第2位
- (出所) 在日コロンビア大使館

# コロンビアの輸入(2015年)

コロンビアの輸入推移(単位:百万ドル)

品目別輸入構成(2015年)



**2015年: 540.6億ドル(前年比15.6%減)**

**工業品(自動車等)輸入: 419.3億ドル(同14.0%減)**

輸入上位5カ国:

米国(シェア28.7%)、中国(18.6%)、メキシコ(7.1%)、ドイツ(4.2%)、ブラジル(3.9%)、日本(7位、2.3%)

出所: 国家統計庁(DANE)

# 目次

1. 近年のマクロ経済動向

2. 企業活動

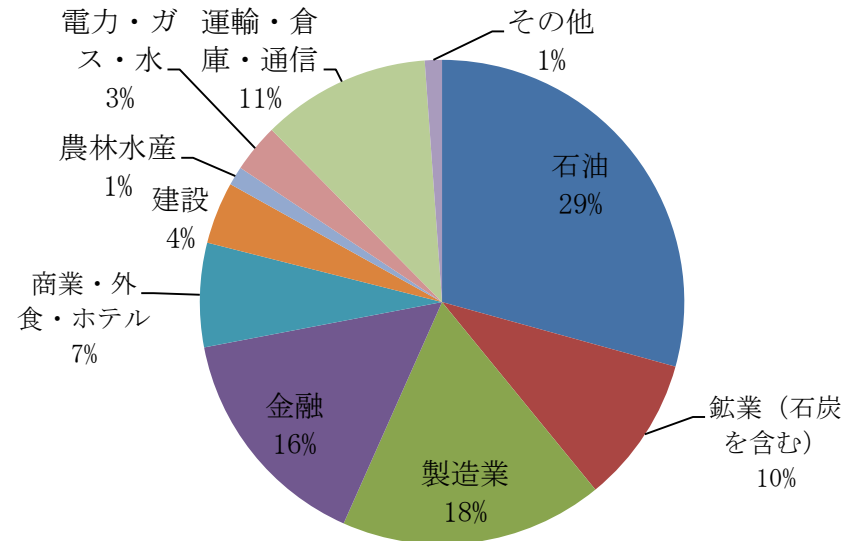
3. ビジネス環境上のメリット・デメリット

# 2. 最近の企業活動



# コロンビア向け外国直接投資 (FDI) の推移

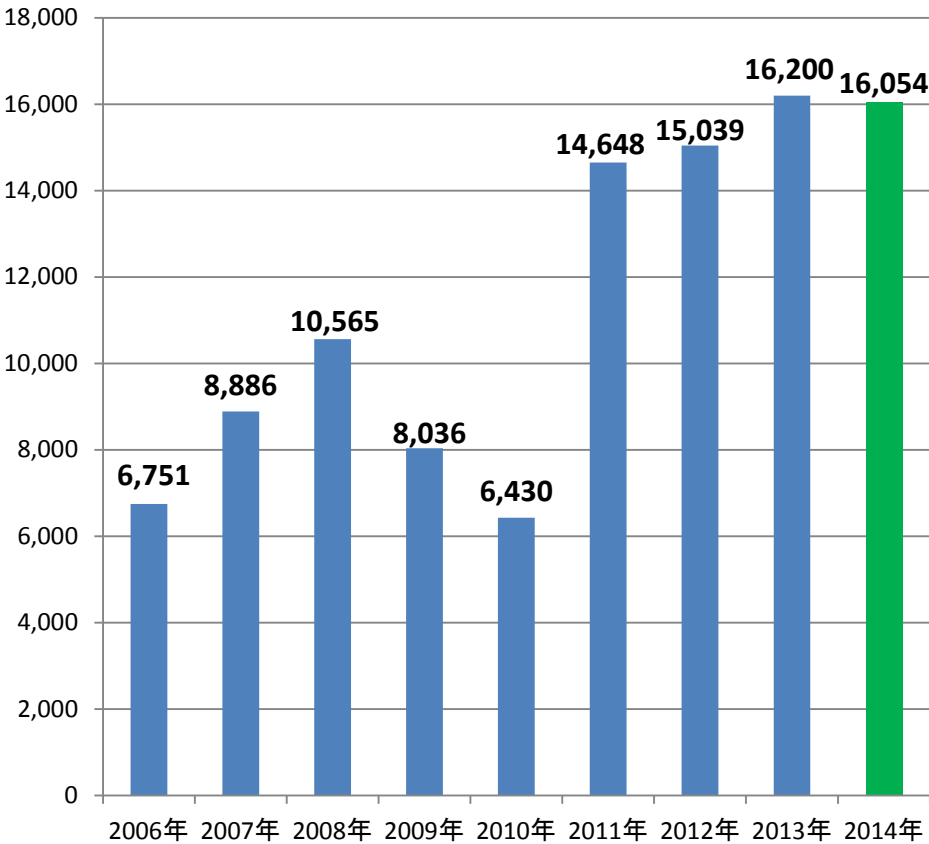
## 2014年のFDI受入れ構成比



世界銀行「Doing Business」(中南米抜粋)

## ビジネスのしやすさ順位

国名	2007年順位	2015年順位	2016年順位
メキシコ	43	39	38
チリ	28	41	48
ペルー	65	35	50
<b>コロンビア</b>	<b>79</b>	<b>34</b>	<b>54</b>
コスタリカ	105	83	58
パナマ	81	52	69
ウルグアイ	64	82	92
パラグアイ	112	92	100
ブラジル	121	120	116
エクアドル	123	115	117
アルゼンチン	101	124	121
ボリビア	131	155	157
ベネズエラ	164	182	186



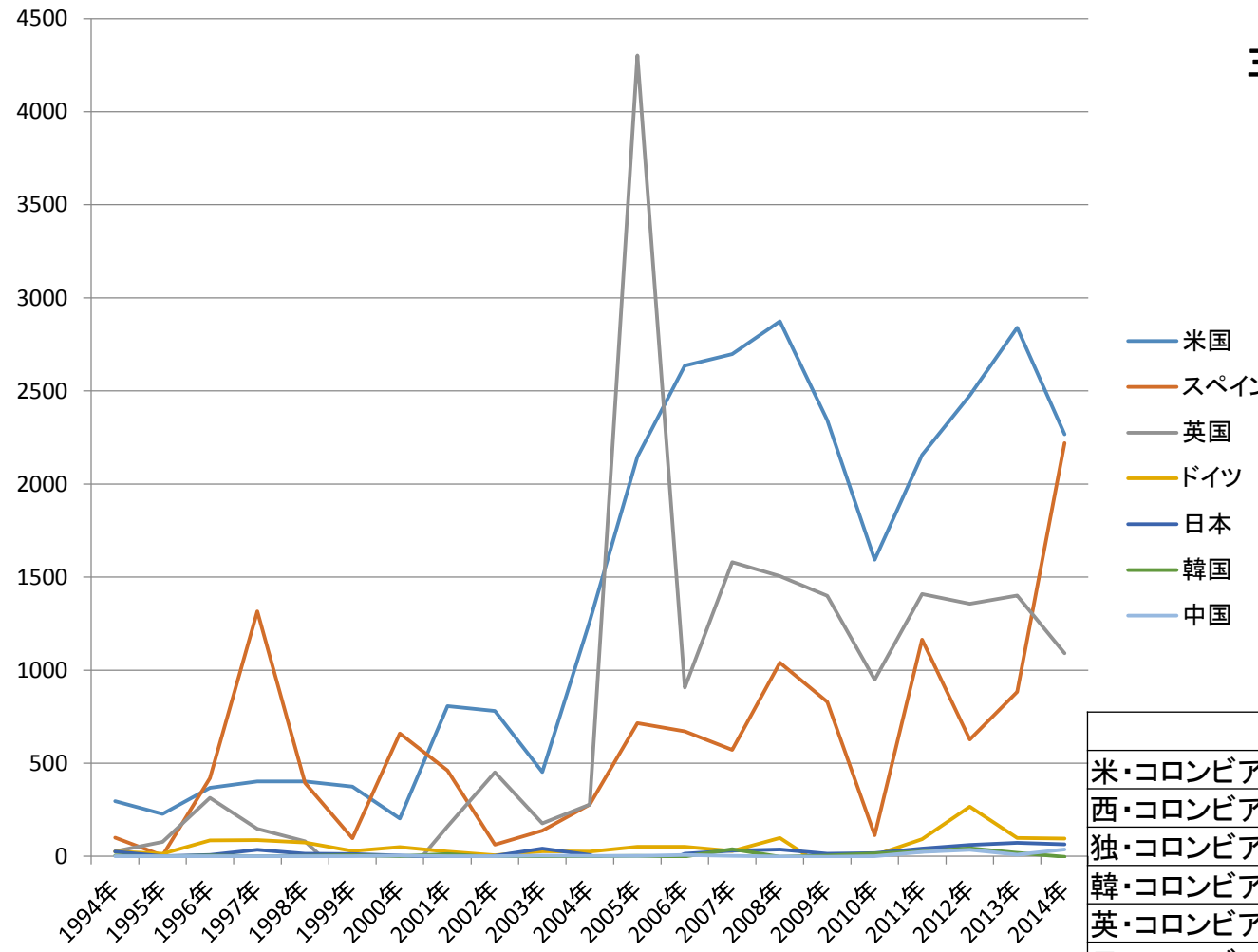
近年の治安回復・国内経済好調により、製造業、金融、運輸・倉庫・通信などがFDI受入拡大傾向

(※) 2015年1-9月: 92.4億ドル  
(前年同期比26.3%減)

(出所) 中央銀行統計  
(注-1) 国際収支ベース  
(注-2) 06～直近年推定値

# 主要国のFDI動向

FDI受入れの推移(単位：百万ドル)



## 主要国・地域別のFDI受入れ状況

(単位：1994-2014年、百万ドル)

国・地域	累計値	構成比
欧州	46,928	33.4%
英国	17,311	12.3%
スペイン	12,766	9.1%
北米	36,651	26.1%
米国	29,601	21.1%
中南米	29,145	20.8%
パナマ	18,647	13.3%
チリ	5,149	3.7%
アジア・大洋州	871	0.6%
<b>日本</b>	<b>407</b>	<b>0.3%</b>
その他地域	26,730	19.0%
合計	140,323	100%

## 各商工会議所会員数

	会員数	進出企業会員数
米・コロンビア商工会議所	736	319
西・コロンビア商工会議所	400	145
独・コロンビア商工会議所	320	80
韓・コロンビア商工会議所	200	30
英・コロンビア商工会議所	135	49
日・コロンビア商工会議所	52	21

出所：各商工会議所にヒアリング

(出所) 中央銀行統計

(注-1) 国際収支ベース

(注-2) 05～直近年推定値

# コロンビア参入企業概要-1



2014

スイス・リー(スイス):世界2位のスイスの再保険会社スイス・リーは Confianzaの51%の株式を取得。



2014

Millicom International Cellular(ルクセンブルグ):  
コロンビア通信大手UNEの50%株式を取得し、移動通信部門の強化。



2014

Gloria(ペルー):コロンビア企業“Incolactos、Lechesan、  
Conservas California”など乳業メーカーなど5社を買収。



2014

Allegion(英国):コロンビア企業“Schlage Lock de  
Colombia”を買収。



2014

古河電気工業(日本):バジェ・デル・カウカ県カリ市に、  
光ファイバー工場設立。



# コロンビア参入企業概要-2



2015

**Foton (中国):** 小型商用車組立工場をボゴタ近郊に建設。



2015

**Hero (インド):** オートバイ組立工場をカウカ県に建設。



2015

**Hilton (米国):** カルタヘナ、バランキージャに宿泊施設建設への追加投資。



2015

**Parque Arauco (チリ):** ボゴタをはじめ4都市でのショッピングモール建設。



2015

**カスタテム (日本):** 精密鑄造メーカーがボゴタ近郊に工場を建設

# FDIの流入要因： 経済・外交戦略

- ◆ 治安改善：エネルギーの持続的生産維持  
(産炭地：北部、産油地：東部、など)
- ◆ コロンビア市場の拡大：中間層の台頭、モノ・サービス関連、製造業への投資拡大
- ◆ 国際会議等の誘致でビジネス・観光客の増加：  
商業・外食・ホテル分野への投資拡大
- ◆ FTA推進：開放経済政策推進  
(米国、EU、太平洋同盟諸国、日本等アジア諸国など)：貿易・投資促進で経済成長目指す

# ICT関連、オートバイの普及率は上昇

各種商品・サービスの世帯普及率

(単位:%)

商品・サービス名	2008年	2010年	2012年	2014年
携帯電話	83.8	86.1	94.2	95.3
テレビ	88.5	89.0	91.1	92.0
電気・ガスコンロ	80.8	83.1	85.8	86.1
冷蔵庫	73.3	75.5	78.7	82.0
ケーブル・衛星テレビ	48.3	50.0	56.2	63.6
洗濯機	40.1	45.5	51.8	57.7
オーディオ機器	50.2	49.5	47.9	50.5
パソコン(デスクトップ、ノート、タブレットを含む)	22.8	26.1	38.4	44.5
DVDプレーヤー	47.1	45.3	44.4	40.0
インターネット	12.8	19.3	32.1	38.0
シーリングファン、扇風機	30.4	32.2	35.0	36.8
固定電話	44.3	37.8	35.6	33.9
自転車	-	-	31.7	27.9
ノートパソコン	-	-	20.4	24.2
オートバイ	15.1	15.9	20.6	23.3
オープン	22.4	21.7	23.5	21.8
電子レンジ	14.5	17.4	20.0	20.7
給湯器	19.1	19.0	19.0	18.1
デジタルカメラ	16.0	16.0	20.8	17.8
自動車	12.4	12.3	13.7	13.5
タブレット	-	-	2.4	13.3
MP3、MP4、Ipod等	10.9	10.9	9.8	10.1
ビデオゲーム	6.7	6.7	7.7	9.0
エアコン	2.5	3.4	3.4	4.1

(出所) 国家統計庁(DANE)

# 新車販売の動向

【コロンビアにおける車種別新車販売(販売店向け、組立車・輸入車の合計)】

車種	2013年	2014年	2015年	前年同期比
乗用車	146,663	163,257	152,419	△ 6.6
タクシー	16,889	14,023	14,614	4.2
SUV	76,146	87,552	73,578	△ 16.0
バン	3,608	4,937	2,644	△ 46.4
ワゴン	8,982	8,166	6,705	△ 17.9
ピックアップ	20,534	20,855	14,467	△ 30.6
商用貨物車	17,986	21,443	17,379	△ 19.0
商用バス	3,814	6,898	5,293	△ 23.3
<b>総合計</b>	<b>294,622</b>	<b>327,131</b>	<b>287,099</b>	<b>△ 12.2</b>

【日本のブランド別販売】

ブランド	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	伸び率	構成比
NISSAN	14,682	24,051	25,110	19,748	21,145	19,982	△ 5.5	38.5
MAZDA	14,054	13,286	10,584	9,526	11,664	16,385	40.5	31.5
TOYOTA	14,458	13,335	15,643	13,851	13,370	7,467	△ 44.2	14.4
HONDA	1,501	1,716	2,670	2,964	3,088	2,548	△ 17.5	4.9
HINO	1,212	1,768	1,627	1,483	2,241	2,486	10.9	4.8
MITSUBISHI	2,057	1,872	1,206	1,298	2,339	1,932	△ 17.4	3.7
SUBARU	634	545	401	770	482	904	87.6	1.7
DAIHATSU	685	633	448	316	310	262	△ 15.5	0.5
SUZUKI	0	0	1,477	4,725	8,011	0	△ 100.0	0.0
<b>合計</b>	<b>49,283</b>	<b>57,206</b>	<b>59,166</b>	<b>54,681</b>	<b>62,650</b>	<b>51,966</b>	<b>△ 17.1</b>	<b>100.0</b>



写真: 国際モータショー会場風景  
(於ボゴタ市内展示会場、ジェットロ撮影)

出所:自動車委員会(Comité Automotor)、税務当局(DIAN)、運輸省  
(RUNT)

# 消費財・サービス別企業シェア

分野	企業名(国籍)	シェア(%)	分野	企業名(国籍)	シェア(%)
電化製品 (数量ベース)	Samsung(韓)	14.9	アルコール飲料 (総量ベース)	SABMiller(英)	93.7
	Alcatel-Lucent(仏)	7.6		Fábrica de Licores de Antioquia	1.6
	Nokia(フィンランド)	7.3		Empresa de Licores de Cundinamarca	0.7
	LG(韓)	5.9		Bogotá Beer	0.5
	ソニー(日)	4.7		Industria Licorera de Caldes	0.4
冷蔵庫 (数量ベース)	Samsung(韓)	22	衛生用品 (小売金額ベース)	SCA Group(スウェーデン)	44.7
	LG(韓)	20		Kimberly-Clark(米)	16.1
	Whirlpool(米)	6		Tecnoquimicas	14.5
	Mabe(メキシコ)	4		Kruger(カナダ)	6.8
	Haceb	3		Johnson & Johnson(米)	4.2
洗濯機 (数量ベース)	LG(韓)	24	家庭用洗剤 (生産金額ベース)	Unilever(英)	14.4
	Samsung(韓)	17		P&G(米)	14.0
	Haceb	15		SG Johnson son(米)	13.1
	Whirlpool(米)	12		Grasco Group(チリ)	11.2
	Mabe(メキシコ)	12		Colgate(米)	10.5
オートバイ (新車登録ベース)	Auteco	36.0	小売り (小売金額ベース)	CasinoGroup(仏)	7.1
	Yamaha(日)	19.5		Falabella SACI(チリ)	2.9
	AKT Motos	18.5		Olímpica	2.7
	ホンダ(日)	15.0		Cencosud(チリ)	2.6
	スズキ(日)	8.5		Colombiana de Comercio	2.3
自動車 (新車登録ベース)	Chevrolet(米)	25.2	外食(ファーストフード) (小売金額ベース)	Hamburgesas El CorraL	9.7
	Renault(仏)	15.3		Mc Donald's(米)	8.1
	KIA(韓)	9.7		Crepas & Waffles	7.6
	日産自動車(日)	6.5		Frisby	6.6
	フォード(米)	6.5		Kokoriko	5.0

(注)黄色は地場企業。

電化製品はコンピュータ・周辺機器、映像機器、通信機器、ゲーム機器など

衛生用品はティッシュ、コットン、おむつ・生理用品など

電化製品、アルコール飲料、外食(ファーストフード)は2013年のデータ、オートバイは2014年1-6月のデータ

(出所) Euro monitor International、ANDI、La Nota Económica の情報を基にジェトロにて作成

# HACEB

設立: 1940年(メデジン市)

事業内容: 家電の製造・販売



- コロンビア資本100%の非上場企業。経済誌Dineroのブランド知名度調査によると家電部門でトップ。
- 冷蔵・冷凍、洗濯・洗淨、調理、空調、温水、アフターサービスの6事業部門を持つ。
- 製造工場はメデジン市郊外のコパカバーナのみ。生産を集約させている背景の一つはサプライヤーを周辺に誘致していること。
- プラスチック射出成形品、アルミ鋳造品、電気部品などを現地企業から購入している。
- Whirlpoolブランドの冷蔵庫を受託生産している。さらに15年8月に合併会社を設立し、生産開始。

# Compañía Nacional de Chocolates

設立: 1920年(メデジン市)

事業内容: チョコレート及び同中間製品、チョコレート菓子を製造・販売

- コロンビアを代表する食品関連の企業グループであるGrupo Empresarial Nutresaに属する。
- チョコレート、クッキー、コーヒー、アイスクリーム、パスタ、肉類、ジュース、外食の8部門に分かれており事業活動は多岐にわたる。
- 製造工場はメデジン市郊外のリオネグロにあり、国外ではメキシコ、ペルー、コスタリカにある。
- グループ全体では世界14カ国に40の工場がある。



# SOFASA

設立: 1969年(メデジン市)

事業内容: 車の製造・輸入・販売



- コロンビア政府とルノーの合併により設立。
- メデジン工場で5車種の組み立てている他、韓国、アルゼンチン、ブラジル、フランスから完成車を輸入している。
- 14年の生産台数は約8万台。国内での販売台数は約5万台、約3万台は隣国へ輸出している。
- 一つの課題は部品の現地調達率が約30%と低いこと。特にブレーキ関連、プレス部品などが不足している。
- 1990年後半から2008年までトヨタ車の組立をおこなっていたが、現在はすべてルノー車のみ。



# ①活躍する日系進出企業-自動車

当社は、重要市場のひとつである中南米地域での販売拡大を目的に、具体的な施策として、2007年8月にコロンビア、2008年8月にはメキシコへの生産拠点の設立を決定した。

コロンビアの工場では、当面コロンビアおよびエクアドル市場向けのトラックを生産し、現地生産化による物流費の低減およびアンデス共同体域内での関税優遇メリットを活かして、価格競争力の強化も図り、両国での当社ブランド・トラックの販売拡大を目指す。

- ・設立: 2007年8月(ボゴタ市郊外)
- ・資本金: 319億コロンビアペソ(17.8億円相当)
- ・出資比率: 本社 70%、コロンビア企業 15%、商社 15%
- ・事業内容: トラックの製造
- ・敷地面積: 47,500㎡(建屋面積12,585㎡)
- ・生産車種: 2種類
- ・生産能力: 5,600台/年(1直・定時)
- ・従業員数: 約180名(2014年11月末時点)



## ②活躍する日系進出企業-昇降機

- ・現地法人設立年:1969年
- ・昇降機の組立開始:大手小売店に納入(1986年)
- ・営業地域:コロンビア、カリブ海諸国、南米諸国
- ・生産、販売品目:昇降機(エレベータ、エスカレータ)
- ・所在地:事務所(ボゴタ市内)、工場(メデジン市郊外)
- ・生産状況:千台(1994年)、三千台(2,000年)、1万台(2011年累計目標)
- ・顧客:大手ショッピングモール、金融機関、ホテル等



左写真:事務所用エレベータ



右写真:病院用エレベータ



高層ビルがそびえるコロンビア  
第2の都市メデジン(El Espectador)

# ③活躍する日系進出企業-医療器具



医療器

→ 現地医療機関

## 拠点設立のポイント

- ・コロンビアは中南米4位の医療器市場規模
- ・医療費支出の対GDP比は、ブラジルについて2位
- ・既に欧米等競合社は進出済み

## ビジネスライン

- ・医療器(輸液関連商品)、血液事業商品、心臓・血管治療。
- ・当初はマーケティング機能のみ。各分野の商品担当者が、医療機関へ商品プロモーション、代理店の営業研修を実施。
- ・一部直販も開始(2014年)
- ・中南米統轄会社(在米・マイアミ)からコロンビア代理店へ販売。

## 今後に期待する点

- ・日本とのFTA締結、当社は日本製品への依存度が60%と高いが、市場競合厳しく米国製40%、欧州製25%のシェア。
- ・経済成長=医療レベルの向上、医療サービス受益者の拡大(市場自体の拡大)。
- ・物流インフラの改善。

資料提供: 当社現地法人



心臓・血管



血液事業

## ④活躍する日系進出企業-写真機材



- 設立：2013年1月（ボゴタ市）
- 資本金：4,360百万コロンビアペソ
- 出資比率：米国現地法人100%
- 事業内容：デジタルカメラの販売、  
印刷消費財の販売
- 従業員数：17名（2015年12月現在）

- 経済成長の伸びが期待され、消費財需要が堅調なコロンビア市場開拓を目指す



資料提供：当社現地法人および当社HP資料

## ⑤活躍する日系進出企業-食品

- ・既存スープ市場があり、インスタント市場は開拓処女地
- ・人口構成が若い国コロンビアの潜在性に注目
- ・米国から製品輸入、FTA発効を利用し低関税享受

- ・ 設立：2013年3月（ボゴタ市）
- ・ 資本金：10,657百万コロンビアペソ
- ・ 出資比率：本邦親会社100%保有
- ・ 事業内容：即席めんの輸入販売
- ・ 従業員数：約30名（2013年9月現在）



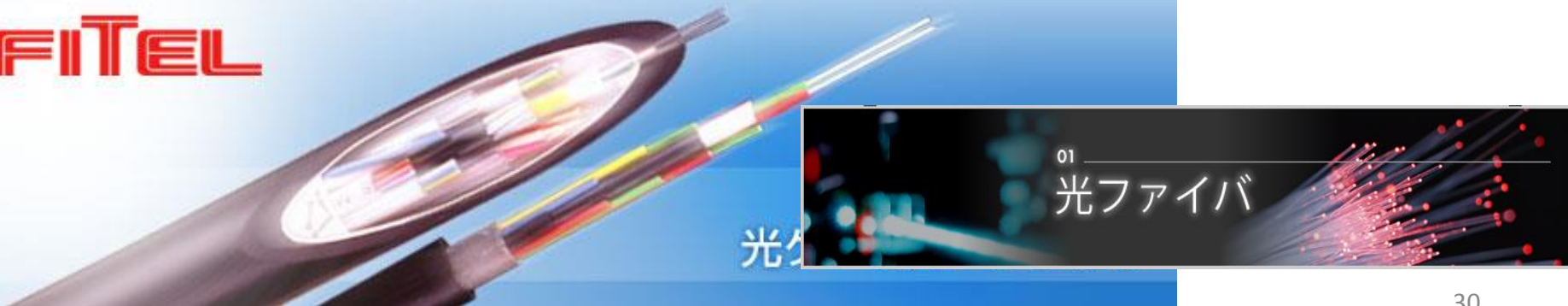
資料提供：当社現地法人

# ⑥活躍する日系進出企業-光通信ケーブル

- ・光ファイバケーブルの製造拠点は、ブラジル・アルゼンチンに次ぐ3個所目。
- ・今後、ブラジル現法は高成長が期待されるアンデス・中米地域への光ファイバケーブル事業参入により、更なる事業拡大を図る。
- ・“太平洋Free Trade Zone“に入居し、太平洋側(Buena Ventura港)経由で原材料輸入関税免除、法人税軽減(33%→15%)の恩典享受。完成品の輸出ロジも至便。

- ・ 社長：本邦企業のブラジル法人完全子会社社長が兼任
- ・ 製造/販売：光ファイバケーブル 等
- ・ 持株比率：ブラジル現法100%保有
- ・ 総投資額：500万ドル
- ・ 工場稼働：2014年8月
- ・ 建設場所：太平洋岸に近いカリ市
- ・ 従業員数：当初25名から順次増員

**FITEL**



# ⑦活躍する日系進出企業-精密鑄造

- 主に米国医療機器メーカー向けに精密鑄造部品を生産予定
- エンジニアの質、小ロット製造への対応能力の高さに注目
- 海外投資はフィリピン、タイ工場に次いで3カ国目

- 設立：2015年8月（ボゴタ市郊外）
- 資本金：3億コロンビアペソ
- 出資比率：本邦親会社100%保有
- 事業内容：精密鑄造部品の製造。
- 工場稼働：16年4月予定。



左上写真：コロンビア工場外観  
右写真：本社外観



# 目次

1. 近年のマクロ経済動向

2. 企業活動

3. ビジネス環境上のメリット・デメリット

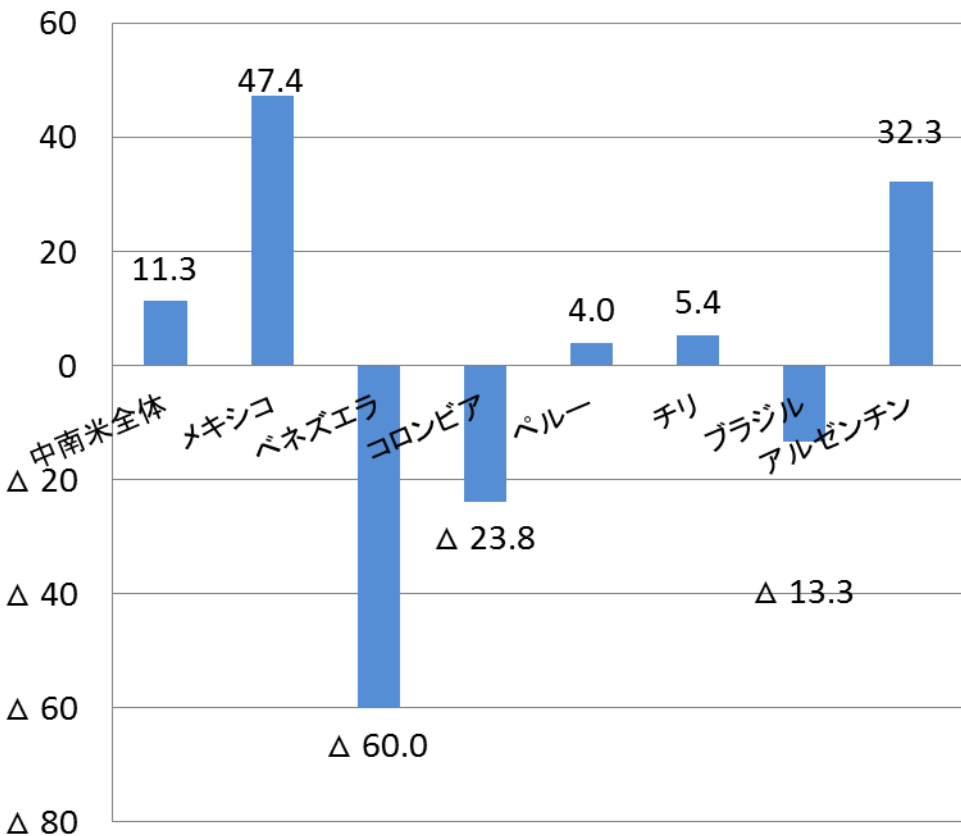


# 2015年の営業利益見込み(前年比)

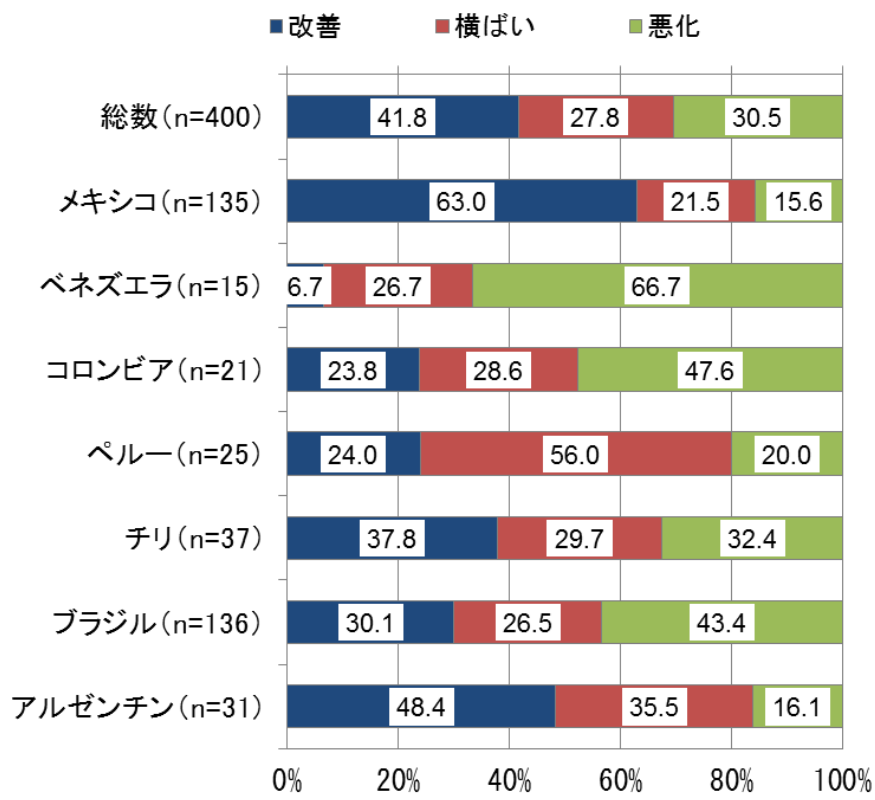
- 国別に2015年のDI値(業況感)をみると、自動車産業への日本企業の集積が進むメキシコ、リストラを進めた企業が多かったアルゼンチンにおける業況感が高かった。
- 原油価格下落で国内経済が混乱しているベネズエラ、現地通貨安で輸入企業がコスト増に直面したコロンビア、政治経済ともに低調なブラジルにおける業況感が低かった。

DI値: 2015年の営業利益見込みが前年に比べて「改善」と答えた比率から「悪化」と答えた比率を引いた数値

国別DI値(2015年)



前年と比べた2015年の営業利益見込み



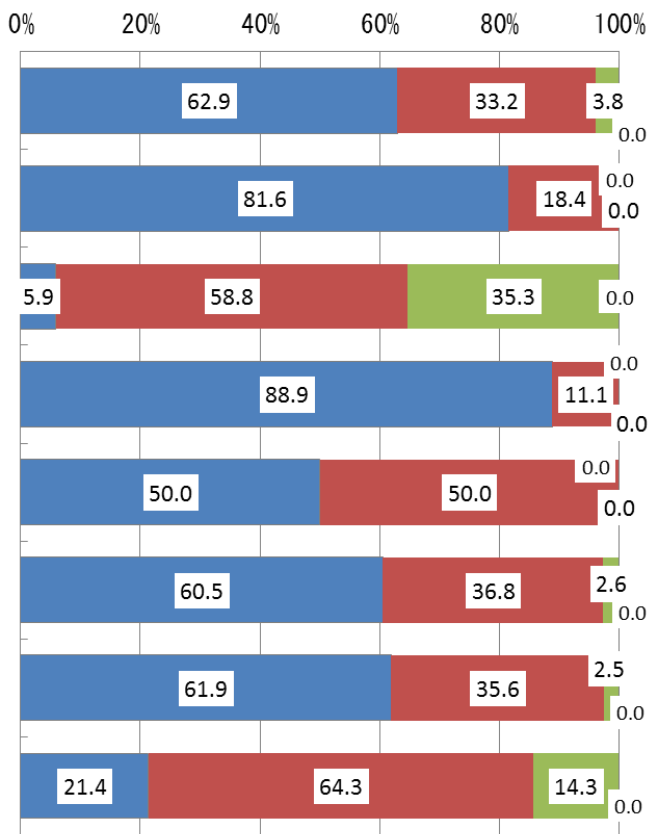
# 中南米進出日系企業の今後1～2年の事業展開の方向性：

■コロンビアは、今後の事業展開の方向性は2014年度調査時から「拡大」と回答した企業は減ったものの依然として高い。

## 2014年度調査

### 今後1～2年の事業展開の方向性(2014年度調査)

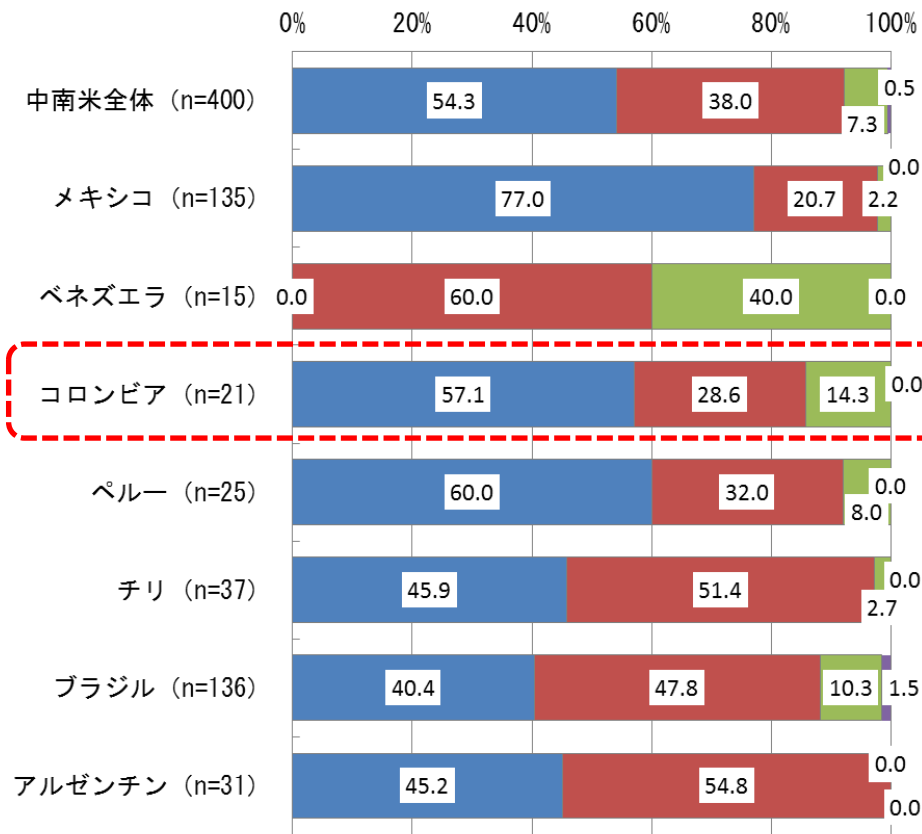
■ 拡大 ■ 現状維持 ■ 縮小 ■ 第3国(地域)へ移転・撤退



## 2015年度調査

### 今後1～2年の事業展開の方向性(2015年度調査)

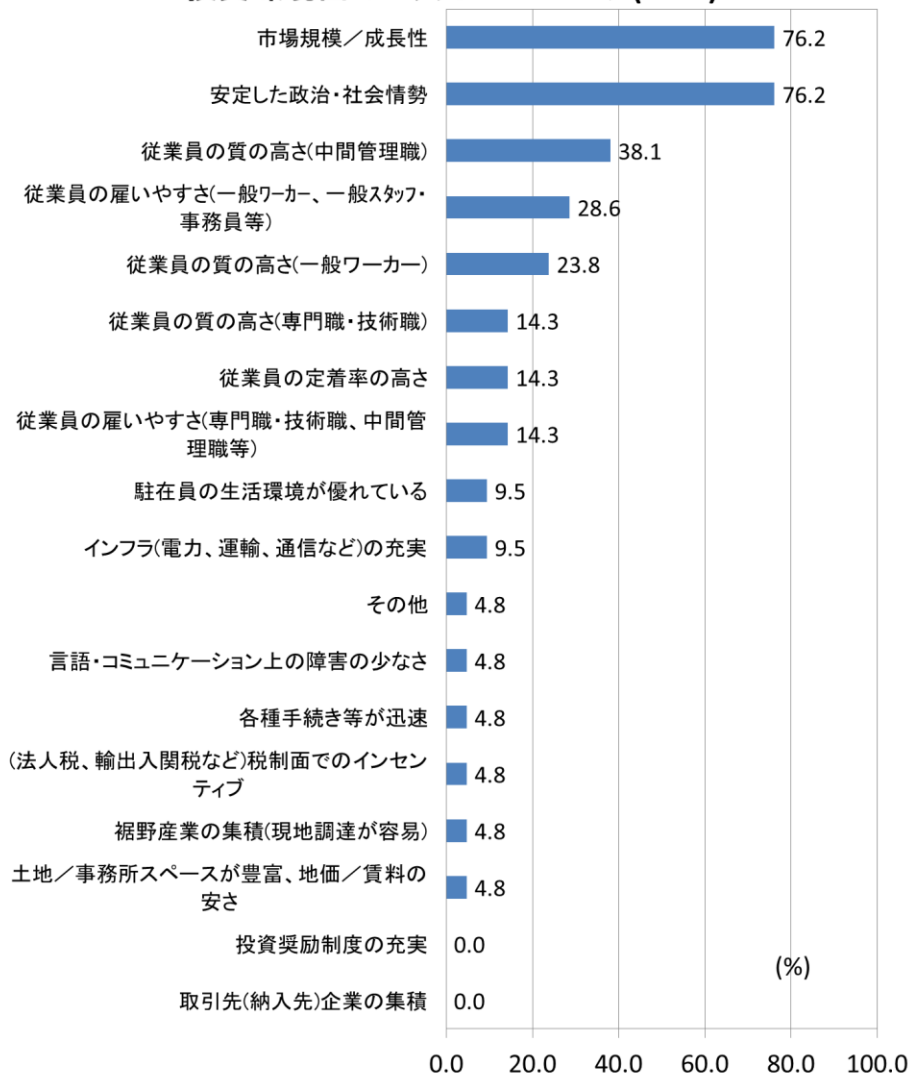
■ 拡大 ■ 現状維持 ■ 縮小 ■ 第3国(地域)へ移転・撤退



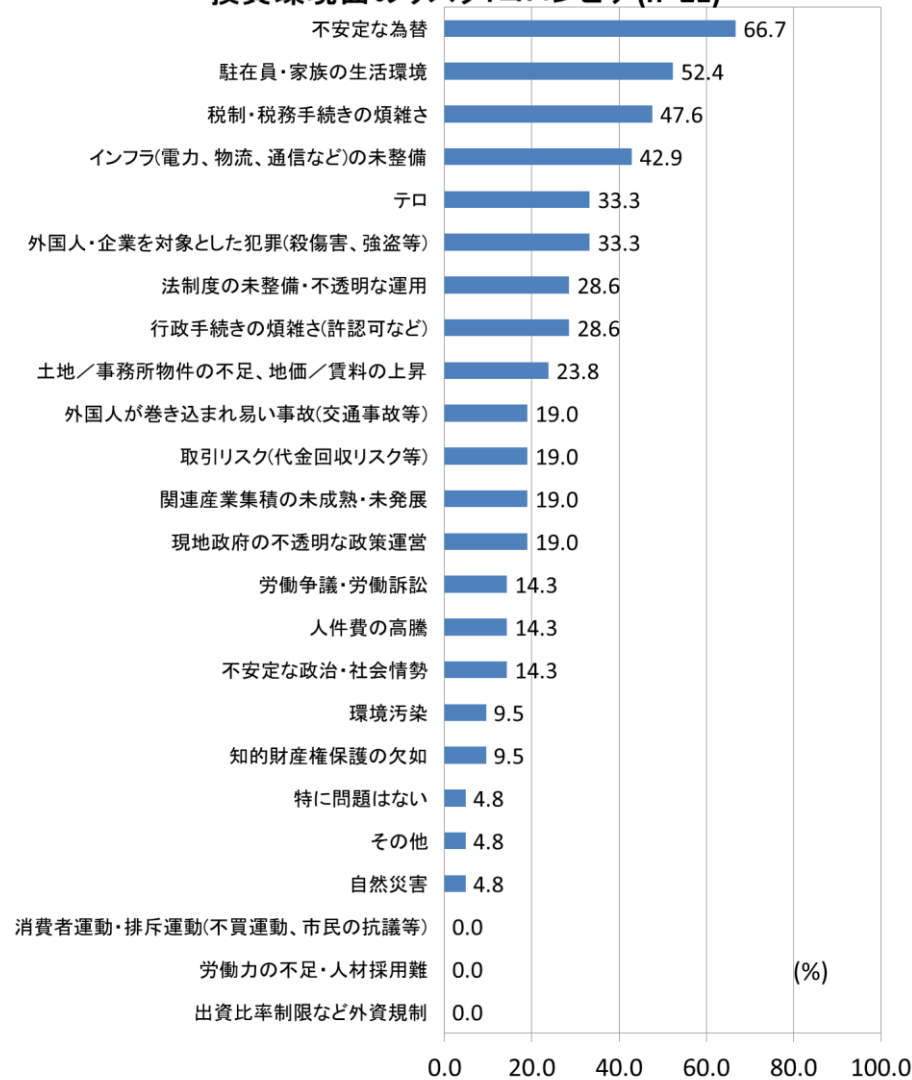
# 投資環境面のメリットとリスク～コロンビア～

■コロンビアでは、投資環境面のメリットとして「市場規模／成長性」、「安定した政治・社会情勢」、「従業員の質の高さ(中間管理職)」を、リスクとして「不安定な為替」、「駐在員・家族の生活環境」、「テロ」の比率の高さが他国に比べて目立つ。

投資環境面のメリット:コロンビア(n=21)



投資環境面のリスク:コロンビア(n=21)



# 活躍する日系進出企業からのコメント

コロンビア人とは：

- 真面目（規則を守る、一面頑固）
- 几帳面（目標達成度が高い、約束を守る）
- 洗練されたデザイン感覚に富む
- 日本人との相性が良い（新規性へ対応能力が高い（飲み込み早い）、手先が器用）
- 大家族単位での行動（絆が強く、残業・休日出勤より家族との時間を優先）
- 愛想が良い（商売上手）

# コロンビアのビジネス環境の課題 ～税務と物流の高コスト～

主要新興国の税務環境

国名	順位	納税手続回数	年間税務所要時間	実効税率
		(回/年)	(時間/年)	(%)
南アフリカ	20	7	200	28.8
マレーシア	31	13	118	40.0
チリ	33	7	291	28.9
ロシア	47	7	168	47.0
ペルー	50	9	260	35.9
トルコ	61	11	226	40.9
タイ	70	22	264	27.5
メキシコ	92	6	286	51.7
フィリピン	126	36	193	42.9
中国	132	9	261	67.8
<b>コロンビア</b>	<b>136</b>	<b>11</b>	<b>239</b>	<b>69.7</b>
インドネシア	148	54	234	29.7
インド	157	33	243	60.6
ベトナム	168	30	770	39.4
アルゼンチン	170	9	405	137.4
ブラジル	178	9.6	2,600	69.2
地域平均				
OECD高所得国		11.1	176.6	41.2
中東・北アフリカ		17.7	216.1	32.6
欧州・中央アジア		19.2	232.7	34.8
東アジア・大洋州		25.3	201.4	33.5
南アジア		31.3	299.3	38.9
ラテンアメリカ・カリブ		30.1	361.0	47.7
サブサハラ・アフリカ		38.6	308.6	46.5

(注)順位は年間所要時間の対象189カ国・地域における順位。  
税金の種類や所要時間が少なく、実効税率が低い方が  
順位が高くなる。実効税率は法人税や社会保険負担金  
などの企業負担租税の合計で、法人利益に対する%。

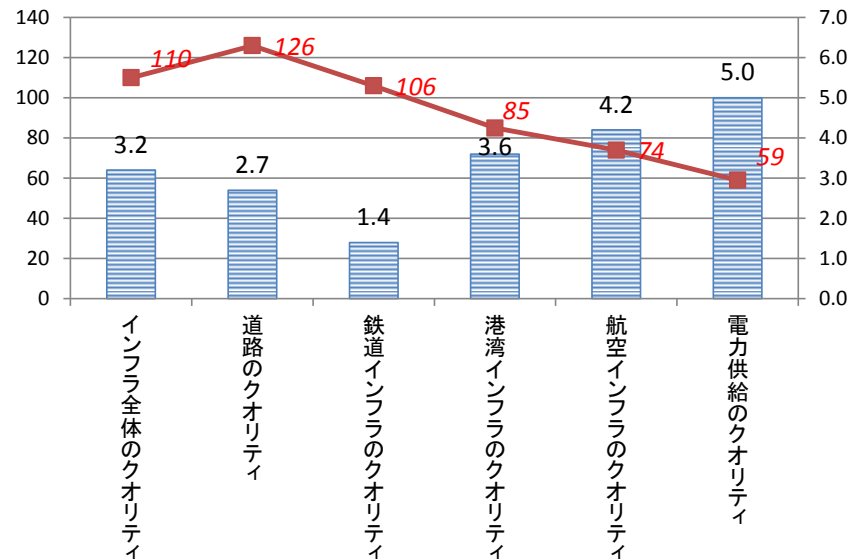
(出所)The World Bank, *Doing Business 2016*

ラテンアメリカ主要国の国際競争力順位(140カ国中)

	総合	インフラ	道路
チリ	35	45	35
メキシコ	57	59	54
<b>コロンビア</b>	<b>61</b>	<b>84</b>	<b>126</b>
ペルー	69	89	111
ブラジル	75	74	121
アルゼンチン	106	87	108
ベネズエラ	132	119	128

(出所)WEF, Global Competitiveness Report 2015-2016

コロンビアのインフラに関する国際評価

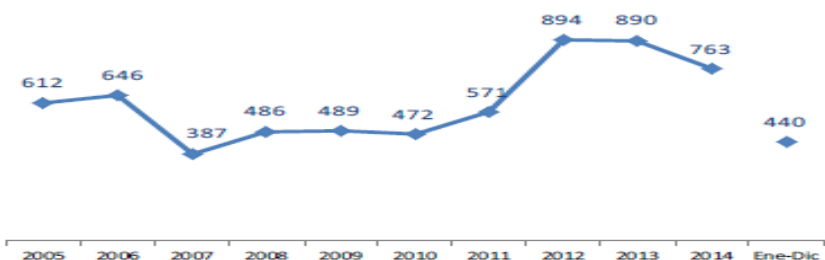


(注)スコアは低1→7高、国別順位は140カ国中。

(出所)WEF2015-2016

■ スコア (右軸) ■ 国別順位 (左軸)

# 治安：テロ、誘拐、殺人発生件数の減少



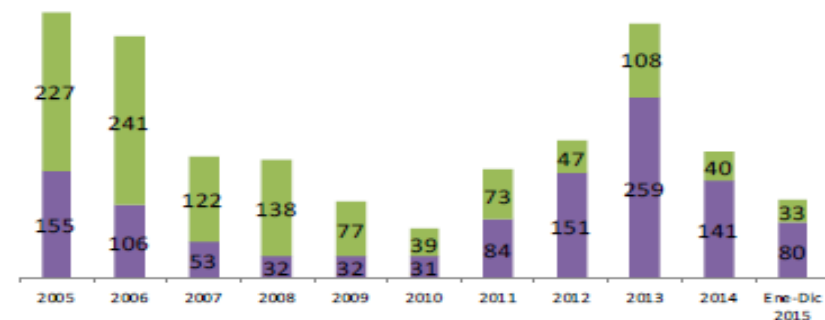
**テロ発生件数： 440件 (前年比42.3%減)**

(2002年は1,645件)

**攻撃されたインフラ関連施設数**

石油パイプライン：80件

送電線鉄塔：33件



**誘拐件数： 210人 (同27.1%減)**

(2001年は2,917人)

- 2015年7月以降、コロンビア革命軍(FARC)による一時停戦。
- 2016年3月23日を目途にFARCとの和平合意か。
- 凶悪犯罪は減少傾向、盗難、強盗などの一般犯罪が増加。
- 加害者の過半数は一般犯罪者。

## 人口10万人当たり殺人発生率は2002年(69.8)の半分以下に減少



世界の殺人発生率ワースト50都市(2015)からコロンビアの都市抜粋

順位	都市名	件/10万人
8	パルミラ	71
10	カリ	64
45	ペレイラ	33
参考	メデジン	26.9
参考	ボゴタ	16.5

出所 Consejo Ciudadano para la Seguridad Pública y Justicia Penal A.C. 2015、UNODC

出所 国防省

# コロンビアの中長期的課題

## ～製造業の復興と石油依存度の緩和～

コロンビアのFTA発効・署名・交渉状況

(単位:%)

状況	締結相手国	発効日 (署名日)	貿易総額に占める構成比 (2014年)			貿易拡大効果 (14年/発効前年)	
			往復	輸出	輸入	輸出	輸入
発効済	アンデス共同体	93/1/31	5.0%	5.9%	4.2%	665.3%	1011.7%
	メキシコ	95/1/1	5.2%	1.7%	8.2%	743.0%	1702.0%
	メルコスール	05/2/1	6.6%	7.0%	6.3%	112.2%	63.9%
	チリ	09/5/8	1.6%	1.8%	1.5%	520.9%	314.4%
	中米北部3カ国	09/11/12	0.5%	0.8%	0.2%	33.2%	-
	欧州自由貿易連合(EFTA)	11/7/1	0.9%	1.0%	0.9%	-39.3%	-
	カナダ	11/8/15	1.5%	1.2%	1.8%	24.9%	41.4%
	米国	12/5/15	27.1%	25.7%	28.4%	-35.8%	34.3%
	ベネズエラ	12/10/19	3.5%	3.6%	0.7%	15.2%	-21.9%
	EU(28カ国)	13/8/1	15.3%	17.0%	13.7%	3.0%	19.0%
	合計	-	67.3%	65.7%	65.9%	-	-
署名済	韓国	(13/2/21)	1.7%	0.9%	2.3%	-	-
	コスタリカ	(13/5/22)	0.3%	0.5%	0.1%	-	-
	パナマ	(13/9/20)	3.1%	6.6%	0.1%	-	-
	イスラエル	(13/9/30)	0.7%	1.0%	0.5%	-	-
	太平洋同盟追加議定書	(14/2/10)	8.8%	5.6%	11.6%	-	-
交渉中	日本	-	1.6%	0.8%	2.4%	-	-
	トルコ	-	0.9%	1.6%	0.3%	-	-

(注)一部の品目に自由化を限定した特惠貿易協定を除く。アンデス共同体については自由貿易圏が本格始動した時点。複数国間FTAで相手国に応じて発効日が複数ある場合は最初の発効日を記載。  
(出所)商工観光省, 国家統計庁(DANE)資料から作成

製造業の実質成長率と対GDP比

(単位:%)

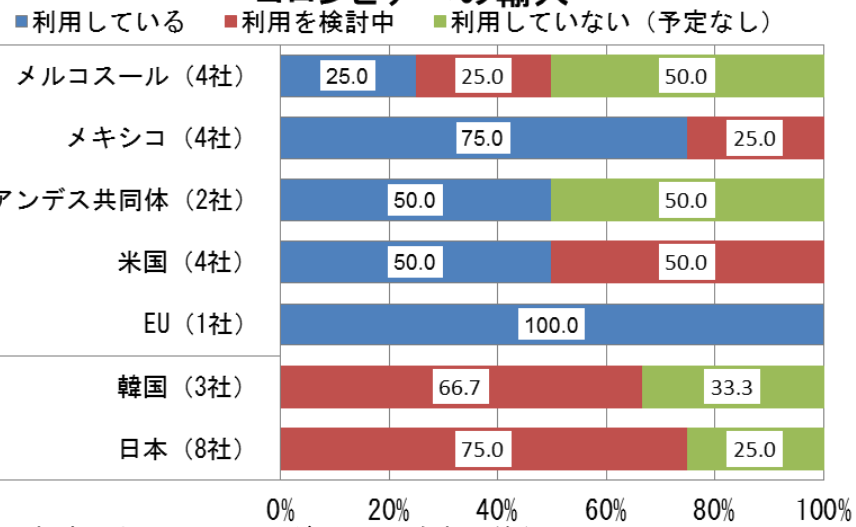
年	伸び率	構成比
2001年	2.9	14.1
2002年	2.1	14.0
2003年	4.9	14.2
2004年	7.9	14.4
2005年	4.5	14.1
2006年	6.8	14.3
2007年	7.2	14.5
2008年	0.6	13.9
2009年	△ 4.1	13.2
2010年	1.8	12.8
2011年	4.7	12.3
2012年	0.1	12.2
2013年	0.6	11.8
2014年	0.2	11.2
2015年	△ 1.8	10.8

(注)2015年は上半期(1-6月)のデータ。  
(出所)国家統計庁(DANE)

# FTA/EPAの活用状況と問題点:コロンビア

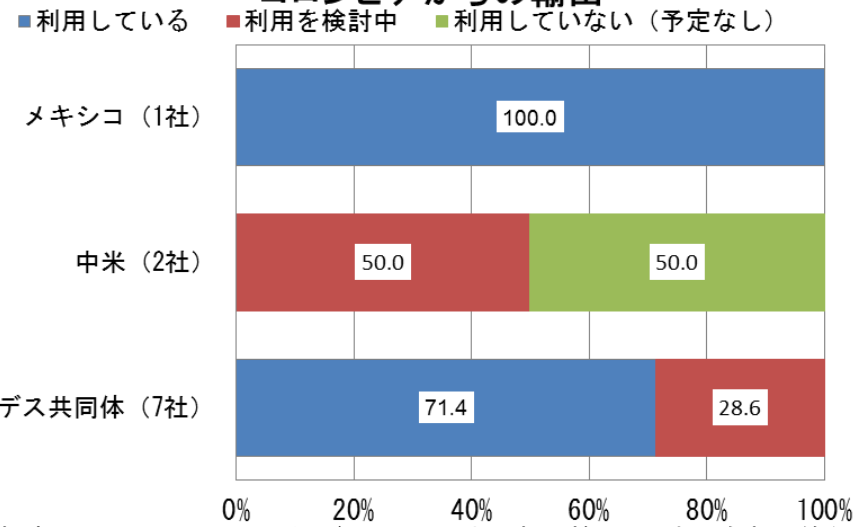
**■ 輸入販売企業が多いため、交渉中の日本とのEPAをコロンビアへの輸入に利用する予定が多い。**

### コロンビアへの輸入



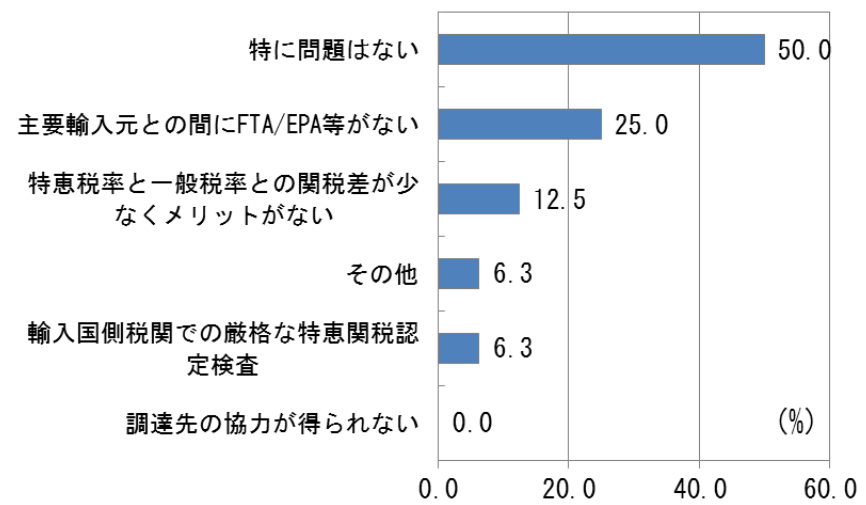
(注) 発効済の中米、チリ、カナダ、EFTAは有効回答なし

### コロンビアからの輸出

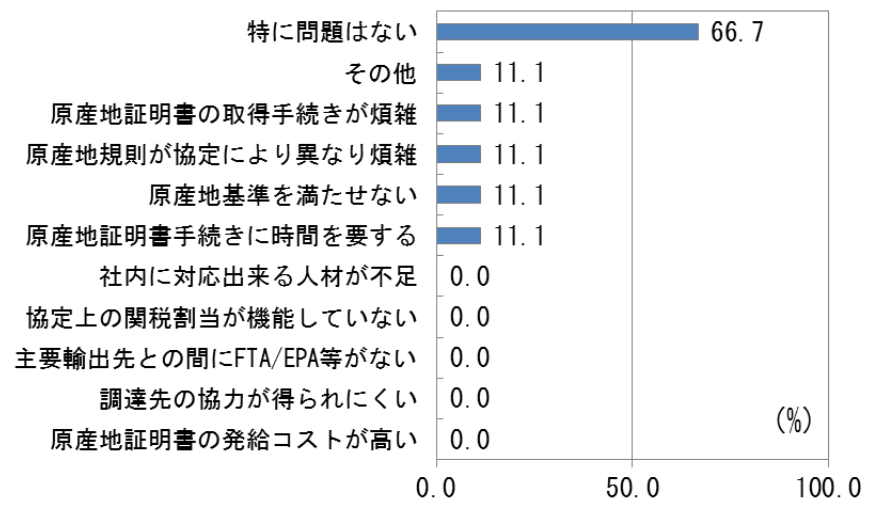


(注) 発効済のメルクスール、チリ、米国、カナダ、EU、EFTA、未発効の韓国、日本は有効回答なし

### FTA活用にあたっての輸入面の問題点:コロンビア



### FTA活用にあたっての輸出面の問題点:コロンビア





# コロンビアの魅力と課題

## 魅力

- ・**政治・経済の安定**  
ハイパーインフレ経験がない  
健全な財政運営
- ・**拡大する中間層**  
中間所得層が低所得層を上回る
- ・**労働者の質の高さ**  
真面目で、手先が器用  
生産効率が高い
- ・**FTAネットワーク(対米欧中南米)**  
63カ国と13のFTA、太平洋同盟  
日本とのEPA交渉中
- ・**両洋に港、空港欧米路線拡大**  
パナマ運河拡張最適な輸送条件  
米州主要都市は6時間以内のフライト

## 課題

- ・**インフラの未整備**  
WEFの交通インフラ競争力指数(2015-2016)  
米国5.90(9位)、中国5.09(21位)、  
メキシコ4.55(36位)、チリ4.13(45位)、  
ブラジル3.48(77位)、コロンビア3.01(98位)
- ・**税制・税務手続きの煩雑さ**  
WEFの徴税競争力指数(2015-2016)  
チリ27.9(30位)、米国43.8(95位)、  
メキシコ51.8(115位)中国64.6(128位)、  
ブラジル69.0(134位)、コロンビア75.4(137位)
- ・**治安**  
WEFの治安競争力指数(2015-2016)  
チリ5.50(32位)、米国4.88(60位)、  
中国4.73(70位)、ブラジル4.21(94位)、  
メキシコ3.22(129位)、コロンビア3.12(134位)

ご清聴ありがとうございました

ジェトロ・ボゴタ事務所  
所長 高多 篤史  
Atsushi TAKATA,  
Representante Legal

JETRO BOGOTÁ  
Calle 77 #7-44 Of. 603  
Tel: +57-1-321-6385/86 Fax: +57-1- 317-9240  
e-mail: [Atsushi\\_Takata@jetro.go.jp](mailto:Atsushi_Takata@jetro.go.jp)

「無断で複製・配布することを禁じます」